

地域食育連携協働事業報告（西区）

連 携 先	名古屋文理大学短期大学部
取 組 の 名 称	子ども食育教室
実 施 時 期	<第1回>令和元年8月 6日(火) <第2回>令和元年8月19日(月)
取 組 内 容	<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやつの適切な摂り方 <p>【対象者と参加人数】</p> <p>区内学童保育クラブ児童 <第1回> 46名 <第2回> 51名</p> <p>【実施内容】</p> <p>子どもたちに食べることの大切さを直接伝えるために学童保育クラブで栄養士養成施設の学生と連携し食育教室を実施しました。</p> <p>保健センターから食べ物の栄養や体でのほたらきを伝えました。</p> <p>学生からはクイズ形式でおやつの適切な摂り方を伝えました。</p> <p>その後自分で作ることができるおやつの実習を一緒に行いました。</p>



地域食育連携協働事業報告（西区）

連 携 先	名古屋文理大学短期大学部
取 組 の 名 称	食の大使プロジェクト（山田高等学校）
実 施 時 期	令和元年9月10日(火)
取 組 内 容	<p>【目的】 高校生が将来、進学・就職をする前に自分の食事について関心を持つことで、自立できるように支援をします。助言者として栄養士養成課程の学生にも参加してもらい、ピアエデュケーションの効果を利用しています。</p> <p>【対象者と参加人数】 山田高等学校生徒 44人</p> <p>【実施内容】 ＜タイムスケジュール＞ 開始 あいさつ 事業の趣旨説明、西区の朝食実態 グループワーク開始 朝食の問題討論、理想の朝食作成 グループからの発表 まとめ 終了 ＜配布資料＞ ・6つの基礎食品</p>

地域食育連携協働事業報告（西区）

連 携 先	ポッカサッポロ株式会社
取 組 の 名 称	レモンのチカラ講座
実 施 時 期	令和元年 11月 27日(水)
取 組 内 容	<p>【目的】 ポッカサッポロと連携して、日本人に不足していると心配されているカルシウムについて学ぶ。そこで得た知識を家族や周りの方にも広める。</p> <p>【対象者と参加人数】 西陵高校 3年生 栄養選択の生徒 28名</p> <p>【実施内容】 ポッカサッポロから講師を派遣してもらい、講義及びキレート実験などを行いました。最後にラッシーを作って試飲をしました。 レモンの効用を知ることから始まり、カルシウムが若い世代でも不足している実態やカルシウムが何に含まれているかを学びました。 キレート実験をすることでカルシウムが吸収される様子が実感できたようでした。 今後は習った飲料や料理を積極的に作ろうという感想が多くみられました。</p>